

2020年3月3日

「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2019」の大賞企業に選定

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、日本取締役協会が主催する「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2019*」において、東証1部上場企業約2,000社の中から2019年度のGrand Prize Company（大賞企業）に選定され、表彰されましたので、お知らせいたします。

本表彰は、政府による成長戦略のひとつとして、日本企業の稼ぐ力を推し進めるため、コーポレートガバナンスを用いて、中長期的に健全な成長を遂げている企業を後押しする目的で、日本取締役協会が2015年度より実施しているものです。詳細は日本取締役協会のウェブページをご覧ください。（https://www.jacd.jp/news/cgoy/200130_2019-1.html）



左：一般社団法人日本取締役協会 宮内 義彦会長

右：塩野義製薬株式会社 代表取締役社長 手代木 功

当社の受賞理由としましては、コーポレートガバナンスの基本である、機関投資家など外部のステークホルダーの目を強く意識し、広く透明でトレースできるような対話を心掛けている点、高い危機感を持って経営を行うことにより、自社の経営改革を実現し、優れた業績を上げている点が高く評価されたとのこと。また、審査委員長の齊藤 惇氏は、「コーポレートガバナンスを機能させるには、強い経営思想が必要です。手代木氏は経営企画部長当時から事業の選択と集中を行い、利益率の大幅改善に挑戦してきました。その徹底した行動は稀有な存在であると思います」とコメントされています。

Press Release



表彰式で当社の代表取締役社長の手代木 功は以下のように述べています。

「大変名誉な賞を頂き、光栄です。ガバナンスの要諦は、業況が悪い時期にどれだけステークホルダーの皆さまに助けて頂けるかに尽きると思っています。株主・投資家、顧客、社会、従業員という4つのステークホルダーの声をどのように聞き、それを企業を立て直す糧にしてきたのかということがまさにガバナンスそのものなのだと思います。今回の賞を当社のさらなる進化のスターティングポイントとし、2度目の大賞を目指して企業経営にあたってまいります。」

塩野義製薬は、常に株主・投資家の皆さまをはじめ、顧客、社会、従業員など当社を取り巻く全てのステークホルダーの皆さまと「最適なバランス」をもって接し続けることが、コーポレートガバナンスの要諦であると考えています。本受賞を励みに、今後も4つのステークホルダーとのバランスが保たれているかを適宜確認しつつ、継続的な企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。



Corporate Governance
of The Year

以 上

*「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー」は、一般社団法人日本取締役協会の登録商標です。

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885